

マンチェスター、ベルリン、パリ、ニース、ロンドン、ニューヨーク：奇妙な一致（上）

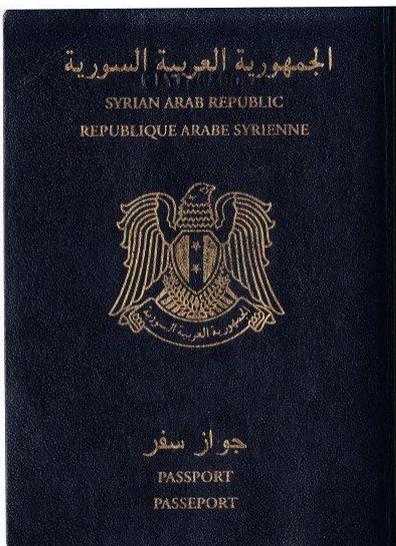
テロの跡に不思議にも発見されるパスポートと ID

【訳者注】9・11 テロから、最近のマンチェスター・テロに至るまで、手口とパターンがいつもきまっている。なぜこういう誰にでも見抜ける、不自然な手口が、いつでも使われるのだろうか？ 彼らは故意にこれをやっているように見える。少なくとも完全犯罪などというものは考慮外であろう。そんなものは、お前たち弱者の考えるものだと思っているであろう。この点でも、彼らはナチスに似ている。ヒトラーがポーランドを攻めたいのだが、口実がないので、彼は自国の放送局を砲撃し、囚人にナチスの軍服を着せて殺し、ポーランドとの国境にばら撒いてポーランドの悪逆を宣伝した。高官の誰かが、「そんなことをしてバレたらどうするのか」とヒトラーに訊ねると、彼は「我々はどうせ勝つのだ。敗者が勝者を裁くことなどできないだろう」と言った。深層国家もその態度を貫いている。例えば「ホワイト・ヘルメット団」など、誰が見ても偽物であることがわかるが、彼らは堂々と押し通している。彼らの根底にあるのは、我々に対する「愚弄」と、その裏の思い上がりである。Cf. 「イルミナティ理解のために」：<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160213.pdf>

Prof. Michel Chossudovsky

Global Research, May 27, 2017

この論文は、テロ攻撃の跡に、きまって（しばしばゴミの中に）発見される容疑者の ID カードとパスポートという“不思議な”現象を考えるものである。



ほとんどの場合、容疑者とされる人物は、官憲に知られていた。

パターンがあるだろうか？ 容疑者の ID 書類がしばしば残されていて、テロ攻撃現場で警察によって発見されている。

政府とメディア報道によると、容疑者（たち）は例外なく、

アルカーイダ関連の団体につながっている。

これらのテロ容疑者で生き残った者は一人もいない。死者は語らない。

マンチェスターの悲劇的事件の場合、自爆者とされる **Salman Abedi** の銀行カードが、爆発のあった場所で彼のポケットの中に見つかった。

公的物語は信用できるか？ イギリスは“テロの犠牲者”であり、同時に“テロの国家スポンサー”である。例外なく、テロ攻撃の犠牲者である西側諸国の政府が、イスラム国 (ISIS) をはじめとするテロ組織のアルカーイダ集団を、直接的・間接的に支援しており、この組織がこれらのテロ攻撃を行ったことになっている。アルカーイダが CIA のつくったものであることは、十分に記録されている。

下に示すのは、いくつかのテロ攻撃の跡に発見された、パスポートと ID に関する状況と証拠の検証であり、いずれも Global Research の論文やメディア報道 (2001-2017) にリンクされている (このリストは決して全部ではない)。

ニューヨーク市 9・11 からマンチェスター 2017 年 5 月まで (逆年代順に、強調は筆者)

マンチェスター・テロ攻撃、2017 年 5 月

「マンチェスター爆弾容疑者、アルカーイダと繋がっているとされる…」

<http://www.nbcnews.com/storyline/manchester-concert-explosion/manchester-bomb-suspect-said-have-had-ties-al-qaeda-terrorism-n763691>

NBCNews.com—May 23, 2017 *MANCHESTER*, England —サルマン・アベディ、23 歳、英国人、自爆攻撃にかかわり、アルカーイダと繋がる… 犯行現場で彼のポケットに見つかった銀行カードによって、身元が判明した。

「マンチェスター攻撃は MI 6 の吹き戻しか？」<http://www.globalresearch.ca/manchester-attack-as-mi6-blowback/5591968>



By Evan Jones, May 26, 2017

「彼のポケットの中に、銀行カードが都合よくも見つかった…ダエシュ (ISIS) がマンチェスター攻撃をやったと主張している…」

言われている銀行カードの写真は発表されていない。

皮肉なことに、容疑者アベディは、イギリス警察や安全保障局でなく、ワシントンによって最初に身元が知られた。どうして爆発の3時間後に、犯人が誰であるかが、遠く離れた場所でわかったのだろうか？ Graham Vanbergen によれば：——

「5月23日早朝——ほぼ02.35BST、NDTVがワシントン・ポストを通じて、全く断定的にこう言った：——

米高官たちが、名を明かさないと条件で、この攻撃者を **Salman Abedi** と同定した。彼らは年齢や国籍について情報を与えなかった。そして英高官たちは、容疑者の身元についてコメント拒否した。

これは、英警察や安全保障局が、その時間には、事件直後の処理に従事していたために、犯人が誰かの推定について声明を拒否していたときに、発表されたものだ。」

ベルリン、トラック・テロ攻撃、2016年12月



「ベルリン、トラック・テロ容疑者と、IDが残されていた奇妙な問題」

<http://www.globalresearch.ca/the-berlin-truck-terror-suspect-and-the-curious-matter-of-id-papers-left-behind/5564089>

By WhoWhatWhy, December 22, 2016

「容疑者の身元証明書が、月曜日、クリスマスのマーケットで12人の人々を殺したトラックの中で発見された、とドイツ安全保障局高官は言った。

容疑者は、ドイツ安全保障局に知られており、過激イスラム主義グループと接触があり、危険人物と査定されていた人物であることが判明した、と北ライン-ウエストファーリアの内務長官 **Ralf Jaeger** は記者団に語った。」



ソース : Daily Mail, July 15, 2016

ニース・テロ攻撃、2016年7月

ニース・テロ攻撃：恒久的戒厳令状態に向かう…犯行者とされる人物は死亡し、好都合にもIDカードを後に残した。



「ニース、7月14日虐殺：戒厳令へ？ イスラム国（ISIS）が犯行宣言？」

<http://www.globalresearch.ca/nice-14th-of-july-massacre-towards-martial-law-the-islamic-state-isis-daesh-claims-responsibility/5536026>

By Peter Koenig, July 15, 2016

ピーター・コーニグ（ケーニヒ）によれば：——

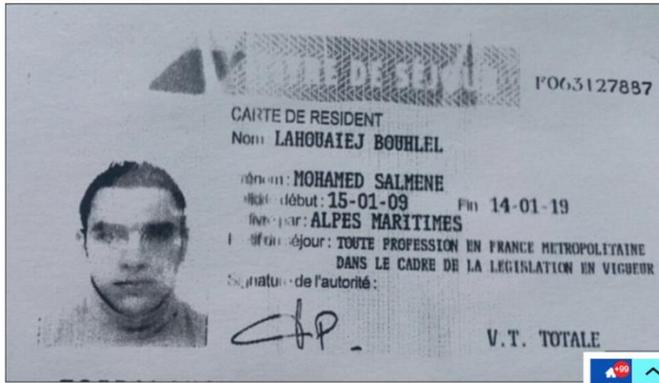
「国定祝祭日だった昨夜の祝祭中、午後11時ころ、猛スピードのトラックが、地中海ブルーバール・アングレ（イギリス通り）で行われていた花火を見物していた、数千の群衆の中に突っ込んだ。トラックの運転手は、運転しながら無差別に、群衆に向かって発砲していた。彼は警察に止められる前に、2キロも走り、やっと警察は車を止め彼を射殺した。

恐ろしいテロ攻撃、大量の人殺し、苦痛と悲惨、恐怖と暴力、これがフランス、ヨーロッパ、さらに世界中に拡散すること——こうしたニセ旗のシナリオが、もう一度、フランスで起こることが予想できる。

この若いトラック・ドライバーは、31歳のフランス人、チュニジア生まれのNizzaの住人だった。これまでのケースと同様、“偶然”、彼の身元証明書がトラックの中に見つかった。」

The truck driver, who was known to police, was said to have shouted 'Allahu Akbar' – God is great in Arabic – before being killed in a clear suicide mission. Pro-ISIS groups have been celebrating the attack, orchestrated to coincide with France's most important national holiday.

WARNING GRAPHIC CONTENT



この若者は直ちに警察に殺された。死人に口なし。このパターンは、今ではよく知られるようになった。

(以下、「下」に続く)